

ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド(市が管理する道路施設等)を企業等に提供する取組について、令和6年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	株式会社オサシ・テクノス	川崎区管内	冠水センサ及び水位計による道路冠水状況の検知	令和6年4月2日～令和7年3月31日	角度調整により前年度の課題であった水位計のエラー値を解消することができたが、天候に関わらずセンサが冠水とみなす状況が見受けられたため、代替センサ及び冠水状況を適切に把握するため、カメラを新たに取付け、令和7年度に再度検証を行う。
2	株式会社アイシン	中原区管内	車載カメラを搭載し、収集した画像データを基にAI解析を行った道路状況把握の有効性及びタクシーでのエリア網羅性の確認	令和6年11月29日～令和7年1月31日	画像認識による異常箇所の検出において、応急補修が必要な異常箇所の検出が確認できた。 また、タクシー2台による2か月間の市内道路の網羅率は約18%となり、走行箇所の重複により網羅率が伸びない結果となり、搭載する車両の選定などの課題を確認。

ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド(市が管理する道路施設等)を企業等に提供する取組について、令和5年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	株式会社 フューチャースタANDARD	高津区役所前	IPカメラと画像解析AIを用いた 交通量調査	令和4年11月24日～令和5 年10月31日	建物内からの撮影であったが、検出精度 が90%以上と高い精度を確認 更なる精度向上に向け、カメラの画質の 改善などの課題を確認
2	株式会社オサシ・テクノス	川崎区管内	冠水センサ及び水位計による 道路冠水状況の検知	令和5年6月28日～令和6 年3月31日	観測期間中、まとまった降雨が確認でき ず、冠水センサ及び水位計の精度が確認 できなかった また水位計に関しては、設置した既存の 柱が影響し、通信障害が発生したと考え られるため、設置角度を調整することでエ ラー値を減少させることができるか令和6 年度に再度、実証実験予定
3	学校法人 東海大学 岡谷エレクトロニクス株式 会社	川崎駅東口周辺	3DLiDAR及びAIカメラを用いた 駅前バス乗り場における滞留 状況の観測および公共荷捌き 場の利用状況の観測	令和6年2月22日～令和6 年3月31日	実証結果 解析中

ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド(市が管理する道路施設等)を企業等に提供する取組について、令和4年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	株式会社 フューチャースタANDARD	高津区役所前	IPカメラと画像解析AIを用いた 交通量調査	令和4年11月24日～令和5 年10月31日	「令和5年度実施結果」に記載
2	学校法人 東海大学 岡谷エレクトロニクス株式 会社	川崎駅東口周辺 稲生橋交差点 長尾橋交差点	3DLiDAR等のIT機器の活用による交通流量可視化データの 有効性確認	令和4年11月19日・24日 令和5年2月1日～2月6日	IT機器の活用により、信号現示の観測や通行車両の台数、滞留状況など、交差点周辺における詳細な交通データの収集により、適切に交通状況の把握が行えることを確認できたものの、機材の電源や設置場所の確保などの課題があるため、更なる省電力化や省スペース化に向けた検討が必要。

ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド(市が管理する道路施設等)を企業等に提供する取組について、令和3年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	日本電気株式会社	中原区管内	ドライブレコーダーを活用した道路劣化診断	令和3年2月1日～9月30日	実施期間内の撮影で、生活道路を含め、区内道路の網羅率が高かったが、車体形状によっては、撮影可能な路面領域が狭くなる課題を確認
2	キャノンマーケティングジャパン株式会社	川崎駅前南交差点	IPカメラとAIを活用した交通状況調査	令和3年5月25日	方向別にカウントできたものの、街路樹等の死角や車両の重なりにより誤抽出したことで、撮影条件に課題を確認
3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	川崎市北部地区管内	公用車に電子タグを搭載し、自動車の走行や運転挙動の可視化	令和3年5月10日～5月31日	タグを搭載することにより、運転挙動の見える化が可能となり、また、安全運転に寄与することを確認
4	株式会社新日本コンサルタント	麻生区管内	道路パトロール業務のICT化	令和3年9月1日～令和4年3月31日	スマートフォンを活用し、道路パトロールの日報やルート図作成等の事務効率化のメリットや課題の確認
5	株式会社ドコモCS	土橋交差点	カメラで交通状況を撮影し、AI処理を行い交通量の計測	令和3年3月19日～3月26日	1断面において、概ね計測できたものの、画角やカメラの解像度について、改善等の課題を確認
6	NECソリューションイノベータ株式会社	鋼管通交差点	量子コンピュータを活用した交通流解析	令和3年8月10日～令和4年3月31日	複数台カメラを設置したことで、具体的な走行経路も含め交通量を計測できたが、降雨時、誤検出が多いことや大型トラックを2重カウントするなどの課題を確認
7	学校法人 東海大学 岡谷エレクトロニクス株式会社	川崎駅東口周辺	3DLiDAR等のIT機器の活用による交通流計測	令和3年11月17日・20日 令和4年3月16日・19日	ロータリー内の交通流は確認できたものの、電源や設置位置について課題を確認し、対応策を検討